

主題：一主イエスの十字架により赦された者として、人を赦す一

2022/2/ 9 (水曜日)

目標：一莫大な罪の負い目を赦された者として、徹底的に人を受け入れる一

キリスト伝

第四ガリラヤ伝道 ⑤

「十字架の予告2」

マタイの福音書 18:21～35

マルコの福音書 9:30～50

弟子たちに対する、主イエスの2度目の死の予告である。

十字架とは、ローマ帝国での凶悪犯や国家転覆を謀る者に与えられた公開死刑の方法である。生殺しのまま死ぬまで釘付けで放置されるこの刑は、残酷なため2世紀には廃止された。

今回の主イエスの苦難の予告には、ユダヤの権力者に「殺される」とだけある。「十字架」とは言われていない。ユダヤ式の死刑は石打ちである。しかしそれでは「木に架けられ呪われ」ることとはできない(ガラテヤ3:13)。また、暗殺されてもいけない。見せしめに人目にさらされ、現実に生きた人間イエスが、無罪のまま十字架に処刑された記録が歴史に残されなければなかった。

主イエスは二度と生きて戻れないガリラヤを去るため、まずペテロに魚を釣らせ、その魚の口にあった銀貨で神殿税を納めさせた。そして復活後、教会のリーダーとなる弟子たちの備えに、幼子のように謙遜であり、寛容な心で人を赦すことを教えられたのである。

[聖書の学び]

最後の仮庵の祭りの少し前の10

月頃で、過越の祭まで、半年

I、主イエスの死と復活の予告

1、主イエスはどのように死と復活の予告をされましたか。

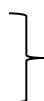
(マルコ9:30～32 p35)

2、弟子たちはこの予告にどのように反応したのでしょうか。

(マルコ9:32～35)

①理解できなかった

②尋ねるのを恐れた



分からないように隠されていた (ルカ9:45)

③誰が一番偉いのか論じ合う…主イエスが「殺される」と言われる意味が分からない。
ローマの圧政から救い出してくれる王となられ栄光を受けられる事、その時の自分の高い立場を求めている。

II、十字架で赦された者の教会

1、天の御国で一番偉い者はどのような人でしょうか？ (マルコ9:33～37)

2、寛容な広い心で受け入れる。 (マルコ9:38～50)

①子どものように、手がかかり、役に立たない者—— 受け入れる。

(マルコ9:36～37)

②仲間にならない身勝手な者 ————— 反対しない者は味方である。
(マルコ 9:38～41)

③どのような者であっても主イエスを信じる者は、つまりかせてはならない。
(マルコ 9:42～47)

3、天の父なる神のみこころを知る教会 (マタイ 18:10～20)

①小さい者の一人も滅びないこと・・・99匹の羊を残して、迷った1匹を探す
(マタイ 18:10～14)

②頑なな者のために・・・地上で繋ぐ権威 (マタイ 18:15～18)

心を合わせて祈る (マタイ 18:19～20)

Ⅲ、十字架で赦された者の使命 (マタイ 18:21～35)

1、天の御国の王の清算のため連れてこられた家来は、王にどれくらいの負債があったのでしょうか？

※1タラントは、現在の日本円で 6,000～7,000 万円程

・10000 タラント = 600,000,000,000 (6000 億円)

2、天の御国の王に莫大な借金がある家来は、どうなりましたか？

①返済できないとき、家来はどうしましたか？ (マタイ 18:26)

②天の御国の王は、どうされましたか？ (マタイ 18:27)

3、赦された家来は、自分に借りのある仲間をどうしましたか？
(マタイ 18:28～30)

4、天の御国の王はこの家来をどうしましたか？ (マタイ 18:32～35)

* **ディスカッション** (心を開いて互いに話し合ってみましょう)

Q. 今日の学びについて、思うこと、教えられたことを、分かち合いましょう。